

幕末明治の写真師列伝 第百四十回 宮下欽 その五十八

明治24年(1891)10月28日午前6時37分、岐阜県美濃地方、愛知県尾張地方を突然猛烈な地震がおそった。驚くべきことに、宮下欽はすぐさま濃尾地震の被害の様子を写真撮影して、いち早く翌11月6日には『新愛知新聞』に新聞広告も出し、折りたくアルバム仕立ての愛岐両県震災写真として販売している。『震災写真 愛知県之部 宮下寫』折帖25枚、『震災写真 岐阜県之部 宮下寫』折帖24枚。これは丁度、岐阜県庁へ内務省県治局長より写真送付の依頼が電報であり、そのため急遽、宮下欽は写真撮影に赴いたと思われる。

しかし、新聞に最初に震災写真の広告が登場するのは、神田淡路町の江木写真館の、『時事新報』の新聞広告で、これは11月5日であった。名古屋ではその他に写真師・中村透、中村牧陽の写真館が震災写真を撮影して、新聞広告も出している。(註：中村透写真館は11月8日『新愛知新聞』広告(4面)、中村牧陽写真館は11月10日『時事新報』広告(9面))

(森重和夫)

●**寫眞業**
名古屋市本町三丁目
宮下 宮下 宮下 欽
赤十字社員 表忠會員 大日本編具品評會

●**震災地方寫眞發賣**
今回其筋ヨリノ御委屬ニヨリ愛岐兩縣罹災ノ實況ヲ撮影仕リ上納候處四方諸君ヨリ該寫眞御需メノ申込多々有之一時謝絶仕候得共漸ク手順整頓致候間今日ヨリ廣ク發賣仕候
名古屋本町三丁目
寫眞師 宮下 欽

明治24年(1891)11月6日『新愛知新聞』広告(4面)。これでは宮下欽の住所は、「名古屋市本町三丁目」とある。

「●震災地方寫眞發賣
今回其筋ヨリノ御委屬ニヨリ愛岐兩縣罹災ノ實況ヲ撮影仕リ上納候處四方諸君ヨリ該寫眞御需メノ申込多々有之一時謝絶仕候得共漸ク手順整頓致候間今日ヨリ廣ク發賣仕候

名古屋本町三丁目
寫眞師 宮下 欽」

明治廿五年一月十九日印刷
明治廿五年一月廿一日出版
著者兼 發行人 宮下 欽
愛知縣名古屋本町百三番戶
印刷者 愛知縣名古屋傳馬町七番戶 田中 有文
名古屋傳馬町六丁目有終舎印行

明治廿五年一月編纂 (非賣品)
愛岐兩縣 震災寫眞說明書
名古屋本町三丁目
寫眞師 宮下 欽

宮下欽『愛岐兩縣震災写真説明書』(有終舎、明治25年)
表紙では、宮下欽の住所は、明治25年(1892)1月編纂、「名古屋市本町三丁目」とあり、奥付では、明治25年(1892)1月21日出版、当時の宮下欽の住所は、「愛知縣名古屋本町百三番戶」とある。